EV・VENDERプロジェクト　ニュースリリース

2011年3月7日に大手新聞・WEBニュースを中心にニュースリリースを行いました。
事業主体のホーキング、インキュベーターの他、パナソニック電工、日本ユニシス、ソフトバンク他EV業界主要企業10社が、共同事業としてEV・VENDERプロジェクトに参加しています。

EV充電器、自販機とセットで

10社が普及事業

自動販売機と同時に、無料で電気自動車（EV）用充電器を設置しませんか――。自販機サービス企画会社など10社は7日、EV用充電器の普及事業を始めると発表した。宿泊施設や商業施設、駐車場施設などを対象に売り込みを図り、自販機の3年間の継続契約を条件に約40万～50万円かかる充電器本体の費用と工事費を無料にするという。

自販機会社約30社が出資する自販機サービス企画会社、ホーキング（東京都豊島区）が中心となり、パナソニック電工が充電器を製造。日本ユニシスやソフトバンクテレコムなどがシステムや通信サービスを提供する。

充電器は1回の充電に7～8時間かかるタイプ。週1回程度、飲料補充に訪れる自販機会社社員が、充電器の稼働確認や周辺の清掃などの巡回サービスも無償で行う。

2012年3月までに全国で1万台、13年3月までに累計3万台の設置を目標にしている。

国内には約250万台の自販機があり、設置競争を展開している。継続契約を条件にすることで自販機会社側も利点が見込めるという。（木村和規）

3月7日
朝日新聞
朝刊

EV用充電器、飲料自販機とセット販売

ホーキングなど10社 インフラ普及図る

ホーキング（東京都豊島区、宮岡隆社長、03・3984・2530）など10社は、飲料自動販売機の設置により電気自動車（EV）用充電器の設置を無料にするインフラ普及事業を10日に始めると発表した。EV用充電器を開発、製造するパナソニック電工、運用管理システムなどを構築する日本ユニシス、通信サービスを提供するソフトバンクテレコムなどが参画。企業などが専用充電器を設置する際の費用負担を軽減し、EVの普及につなげる。

同事業を通じ、ホーキングはEV用スタンドを2012年3月までに1万台、13年3月までに3万台設置する目標。

同社は自販機の企画開発事業などを手がけており、設置交渉や管理を行う全国の営業会社（オペレーター）50社と提携している。各オペレーターが商業施設や自治体施設、マンションなどに自販機とEV用充電スタンドを合わせて売り込む。新規事業の立ち上げ支援などを手がけるインキュベーター（東京御江東区）と共同で事業スキームを考案した。充電器本体と工事費、保守費用はオペレーターが負担する。

3月7日
日刊工業
新聞

EV充電器を自販機に併設

ホーキングやパナ電工10社

飲料用の自動販売機を管理するホーキング（東京・豊島）やパナソニック電工、ソフトバンクモバイルなど10社は7日、電気自動車（EV）用の充電器を飲料自販機に併設する事業を共同で始めると発表した。自販機を新たに導入するホテルや駐車場などに充電器を無料で貸し出す。自販機の設置減少を食い止める狙いだ。

自販機を新たに設置したり、設置契約を更新したりする宿泊施設や商業施設、駐車場などが対象。2011年度に1万台の充電器設置を目指す。

国内の有力な自販機管理会社が共同出資するホーキングが主な営業窓口となる。パナ電工など充電器メーカーは低価格で充電器を供給。ソフトバンクモバイルなどは通信や遠隔管理といった関連サービスを提供する。

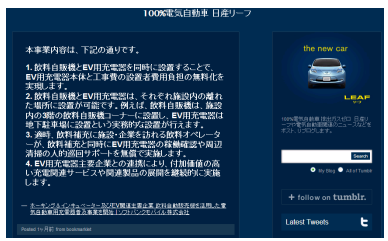
ホーキングは飲料メーカーからの販促費を充電器の購入に充てる。国内の飲料自販機の設置数は減少が続いており、充電器とのセットで営業力を高める。

ホテルなどに無料供与

自販機2～3台に1台の割合で充電器を賃与し、据え付け工事も請け負う。自販機と充電器は別の場所に置くことも可能。自販機の代金回収や飲料補充で巡回する自販機管理会社が充電器のメンテナンスも手がける。

3月7日
日経
新聞
朝刊

日経トレンディ
5月号記事



日産リーフ
WEBサイトニュース